第１号様式（第９条第１項）

事前届出書　記入例

「横浜みどりアップ計画」

樹林地維持管理助成事業　事前届出書

 年　　月　　日

（届出先）

緑地保存地区・源流の森保存地区の場合：

**契約書の契約者名及び住所**を記入してください。

特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区・

地区計画緑地保全区域の場合：

**土地所有者の氏名及び住所**を記入してください。

押印不要

記名のみで提出可能です。

横浜市長

　届出者 住所

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　氏名

**日中連絡がとれる番号**を

記入してください。

 　　　　　　　（法人の場合は、名称・代表者の役職名及び氏名）

あてはまるものにチェックし、作業を行う樹木の総本数や草刈を行う総面積をご記入ください。

現在指定いただいているものにチェックをしてください。

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 　　電話

　樹林地維持管理助成事業について、「横浜みどりアップ計画」による助成金の交付を受けたいので、横浜市樹林地維持管理助成事業要綱に基づき事前に届け出ます。

指定地のうち、作業を実施する住所・地番を記入してください。

あてはまるものにチェックし、作業を行う樹木の総本数や

草刈を行う総面積をご記入

ください。

裏面あり

構造物の設置の場合は延長及び高さの両方をご記入ください。

竹林の伐採の場合は本数または面積（m2）、倒木・枯れ木の撤去処分については、本数または体積（m3）をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業実施地番 | 横浜市　　　　　　　　区 |
| 　主たる届出理由にチェックをしてください。 |
| 緑地指定の種類 | ☑　特別緑地保全地区 □ 近郊緑地特別保全地区 |
| ☑　緑地保存地区 □　源流の森保尊地区指定されている制度すべてにチェックをしてください。 |
| * 地区計画緑地保全区域
 |
| 作業区分 | ☑　樹木管理　　樹木の剪定　　　　約　　５　 　　本樹木の伐採　　　　約　　１　 　　本竹林の伐採　　　　約　　　　 　　本　または　約　　50　ｍ２樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分　約　　１　　　本　または　約　　　　　ｍ３ |
| ☑　草地管理　　　　 約　　200　　ｍ２ |
| ☑　構造物の設置　　　　　　　　　　　不法投棄防止のためのフェンス設置　　　　延長　約　　40　ｍ　高さ　約 　1.5　ｍ　　　　土留めの設置　　延長　約　　　　ｍ　高さ　約　　　　ｍ |
| １ 届出理由主たる届出理由にチェックをしてください。主たる届出理由にチェックをしてください。(1) 樹木管理該当する届出理由にチェックをしてください。□倒木・落枝した場合、隣接する第三者の建物、道路、駐車場等（樹林地除く）まで危険がおよぶ恐れがある。☑枝が隣接する第三者の建物、道路、駐車場等（樹林地除く）まで越境している、または枝が電線に接触しているなどの障害がある。☑竹が隣接する第三者の敷地（樹林地含む）に侵入している、または侵入する恐れがある。☑倒木した樹木または積み置かれた木が第三者の敷地（樹林地含む）に危険が及び恐れがある。または樹林地の安全確保のための管理を行うにあたり、支障がある。(2) 草地管理 ☑不法投棄防止、防犯、放火防止等のため見通し確保のために、草刈を行う必要がある。(3)　構造物の設置**裏面を参考**に、周辺の簡単な地図を作成し、必ずご提出ください。　　 ☑隣接地（樹林地含む）及び樹林地内部の公衆用道路等一般の利用に供されている箇所に不法投棄や土砂流出の恐れがある。 |
| ２ 添付図書　　　作業対象場所の詳細図 |

（A4）

作業対象場所の詳細図の書き方（例）

樹林地内部の倒木処分

伐採・剪定

竹林の伐採

１０ｍ×５ｍ

樹木伐採

フェンス設置

延長４０ｍ

高さ１．５ｍ

道路

草刈

４０ｍ×５ｍ

住宅

樹木剪定

・樹林地が道路・住宅に面している上、木が大きくなりすぎて道路・住宅側に傾いていて倒れると危険です。

・また、道沿いに草が茂りすぎて不法投棄があり困っています

・竹林が隣接地に越境しており、今後隣接地に侵入する恐れがあります。

届け出理由の詳細（危険なこと、支障のあること等）をご記入ください。

**日当たりが悪い、落ち葉が落ちてきて困る、ご自身の所有地に支障がある等の理由による管理作業は、対象とはなりません。ご注意ください。**